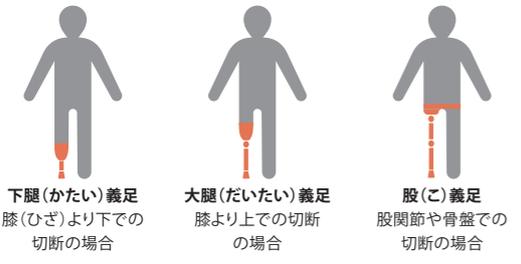


義足ユーザーをとりまく人々、環境

義足ってなに？

私達の身体は一人ひとり違ってきます。ものを見るのに不便を感じる人は、眼鏡やコンタクトレンズという道具を使うことで、日常で困らないように補っています。生まれた時から足の一部がなかったり、病気で事故など様々な理由で切断しなければならない時、足の代わりとして人の身体を支えるのが「義足」という道具です。



日本に下肢を切断した人は推定7万人いるといわれています。近年は糖尿病など血液の循環にかかわる病気による割合が増え、高齢での切断も増えています。

ソケット

- 断端(だんだん) (切断した部分)を入れる部分
- 内側にシリコンなどやわらかい素材のライナーというものをかぶせることもある
- 義肢装具士(ぎしそうくし)がオーダーメイドで製作する

膝継手(ひざつぎて)

- 膝(ひざ)関節の役割をする部分
- ICチップで身体の動きをセンサーして転倒防止や動きの補助をするものもある
- 部品メーカーで製造されている

足部(そくぶ)

- 身体を支える足の部分
- かかとの高い靴をはけるよう、足首の角度が変えられるものもある
- 部品メーカーで製造されている

義肢

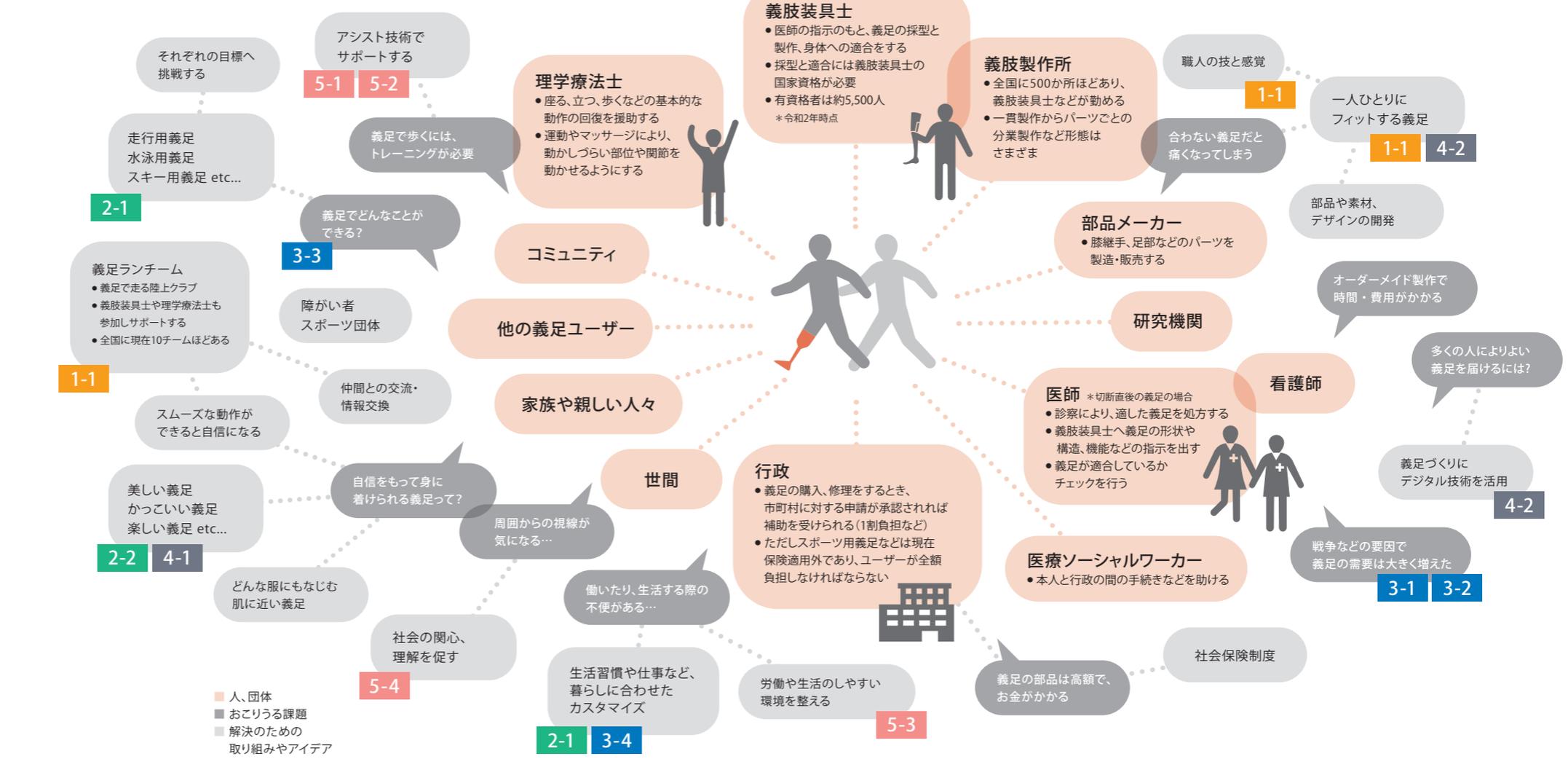
失った手足の機能や形を補う義手、義足をまとめて義肢とよぶ

装具

コルセット、靴の中敷き(足底装具)など、身体の一部を保護したり支える道具

大腿義足

参考:
 ●白井二美男『転んでも、大丈夫 ぼくが義足を作る理由』ポプラ社, 2016
 ●WILLこども知育研究所編『義肢装具士的一天』保育社, 2018
 ●鉄道弘済会 義肢装具サポートセンターHP (2021/6/3 access) <http://www.kousaikai.or.jp/support/knowledge/> ほか



<p>1 血の通う義足づくり 白井二美男のしごと</p> <p>1-1 工房からグラウンド、その先へ</p>	<p>2 義足の今を知る 進化し、壁をこえる義足</p> <p>2-1 日常からスポーツまで かつていいでしょ?</p> <p>2-2</p>	<p>3 義足の歩み ものづくりと社会の歴史</p> <p>3-1 義足の国産化</p> <p>3-2 戦争と義足</p> <p>3-3 スポーツと義足</p> <p>3-4 カスタマイゼーション</p>	<p>4 美しい義足を多くの人へ 山中俊治研究室が描く近未来</p> <p>4-1 美しさへの挑戦</p> <p>4-2 マス・カスタマイゼーション</p>	<p>5 ダイバーシティへ向けて 未来の社会を考える</p> <p>5-1 移動の未来を拓(ひらく)</p> <p>5-2 日常を支える技術で競う</p> <p>5-3 地域と社会の一員として</p> <p>5-4 人を通して障害を識(し)る</p>
---	--	---	---	--